

支 援

つくし野中学区 学校支援VCM 開催される

5月9日(木)の午後、鶴間小学校において今年度から開催をお願いしているつくし野中学校区VCMが開催されました。つくし野中学区はVCが2校変わりましたので、なるべく早い時期の開催をと考えておりました。

つくし野中学校を始め、司会進行を務めてくださった鶴間小学校と、つくし野小学校・南つくし野小学校・小川小学校のVCが参加しました。小林校長先生と学校支援センターを合わせて9名の出席と少人数の会合でしたが、その分、発言が多く、情報交換が進んだのではないかと思います。

学校支援センターは参観という立場で情報を提供したり質問があったら応えたりするというスタイルでの参加で、所用により途中で退席しました。話し合いの中では、

- ・中学校の職場体験先を小学校のVCも一緒になって探せないか。
- ・今年の登録者数は昨年に比べて少ないので各学校で探す努力を。
- ・町田市学校支援ボランティア紹介のパンフレットがほしい。

などの話題が出されました。

今後、他の中学校区でも開催していただきますが、これまで以上の情報交換、人材の共有を図ってほしいと思います。また、1学期中にこれまで行っていた地区別ミーティングも開きたいと思っています。会場校には学校支援センターからお願いの連絡をいたしますので、宜しくお願いします。



左:会場校の校長先生挨拶 右:つくし野中学校区VCミーティングで情報交換

****地域と学校の連携のために、VCがかかわった事例紹介****

地域学習 “小山・小山ヶ丘立体地形パズルマップ”

町田市立小山小学校長 篠田 康昌

本校は、今年度、開校140周年の節目の年を迎えました。古き時代より地域、保護者の皆様の学校教育への思いは熱く、現在に至っても、多くの地域学習支援者に教育活動へかかわっていただいています。昨年度より校内研究のテーマを「地域に学び、地域に生きる小山っ子」とし、生活科、総合的な学習の時間において、授業の工夫、改善を行っています。

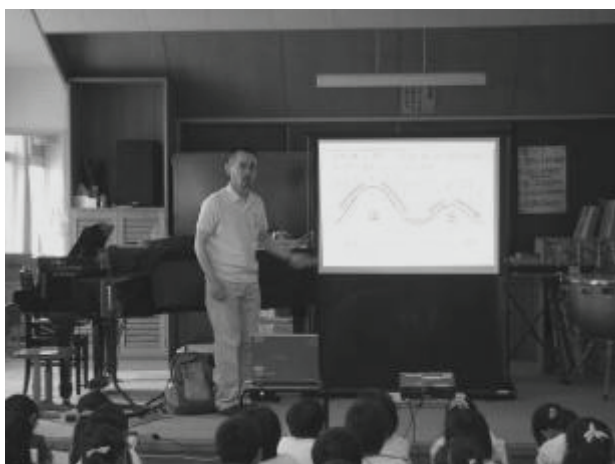
地域とのかかわり合いを大切にしたい授業を展開していくために、ボランティアコーディネーターが大きな働きをしています。地域は人材、環境等において教材の宝庫です。学校教育と地域の教育人材・資源を繋げるボランティアコーディネーターの役割は大きいです。

今回の「地域立体地形パズルマップ」作製のきっかけは、昨年度、本校で、1学期に（地域学習において、デジタル化された地図が欲しい）（地域学習で発見、発掘した教育人材、資源を書き込みたい）ということを考えていたところ、「サレジオ工業高等専門学校」のデザイン学科の学生ができそうだ」という情報がボランティアコーディネーターから入りました。早速、本校の情報教育担当の教員がデザイン学科に連絡を取り、直接、お会いし、今回のプロジェクトが始まりました。初めは、小山、小山ヶ丘地域のデジタル平面図を想定していました。2学期に入り、「地域の立体地形パズル」化を学生の皆さんが構想していることを知り、本校もその具現化の支援をしていくことにしました。立体化が進むうちに「楽しく地域を学ぶ」をコンセプトとし、学生側の「地域のことを学ぶことができ、学習のきっかけからまとめまで繰り返し活用できるような教材にし、使うたびに学習の理解が深まるようなものを作ろう」という思い、願いと学校側の「地域学習で得た情報をまとめたり、地域めぐりを実施する前に地域の地形、環境を知ったりする上で効果的に活用したい」という思い、願いから、製作目標がより具体化されました。立体パズルは、児童が操作することから、学習効果はもちろんです。材質は児童が操作しやすい重さ、安全で壊れにくい素材にする等、何度も工夫、改善が繰り返されました。地域の神社、寺、学校等の主な地図記号をマグネットに表示し、立体地形マップに、学習時に装着できるように工夫されています。



今年の2月7日に本校3年生の学級で試作品2台を活用しての社会科の授業を行いました。地域学習の導入として児童の興味・関心を引くことができました。授業後、さらに、地形の起伏をより立体的にしたり、記号を表示したピースの収納の工夫をしたりと、いくつかの課題を改善し、8台を制作し本校へ寄贈していただきました。今後、本校の地域学習、地形・地図学習に効果的に活用していく予定です。

三輪小学校 4年生 総合学習 「鶴見川ってどんな川？」 5/16



三輪小学校の4年生が、総合的な学習の時間で「鶴見川探検隊」と称した調べ学習を開始しました。ゲストティーチャーは「NPO 鶴見川流域ネットワーク」の小林氏です。鶴見川の歴史や自然環境等のお話をいただいて児童は課題をつかみ、調べ学習に取り組もうという第1回目の授業でした。

かつては「洪水の川」、都市化にともない「生活排水で汚れた川」、人々の努力で鮎が戻るほどまでに変わった川という説明が、45分間でコンパクトに展開されました。鶴見川の水源地である町田市の北部丘陵の重要性を感じました。児童はどんな課題をつかんだのか楽しみです。

鶴間小学校 「いん石の話」 5/20



鶴間小学校の主に高学年を対象にした、専門家ならではの授業を参観してきました。2月15日にシベリアに落下したチェリアビンスク隕石の調査を行い、隕石を持ち帰った「日本スペースガード協会」の研究者によるお話です。動画を含めた映像でのお話に、臨場感を感じました。

特に、爆発後、2分以上してから襲った衝撃波の映像は、大いに驚いたことでしょう。授業後、校長室で隕石にさわらせてもらった児童は、「隕石衝突の恐ろしさがわかった」と言っていました。校長先生の「だんだん地域の方から『これができます』と情報が集まるようになりました」との一言に、私たちも嬉しく思いました。

PTA広報部研修会開催される

5/18（土）に市役所で第3回目のPTA広報部の研修会が行われました。町田市印刷工業組合の方が、構成、文の書き方、写真の取り込み方を講義と実習で指導してくださいました。活動に役立ててください。

右:写真の取り込み実習



～事務連絡～

ボランティア活動災害補償制度補償額について

先日のVC説明会で昨年度の資料をもとに学校支援ボランティアの方々の災害補償制度について説明し、その際、今年度は補償額が引き下げられるかもしれませんとお話ししました。今年度のパンフレットができたので見ますと、補償額は変わっておりませんでしたのでご連絡いたします。

引き続き今年度も事故や怪我のないように、活動していただきたいと思います。慣れてくると往々にして緊張感が緩むのが人間です。VCからも一声かけてください。また、体罰や人権にかかわる問題がないよう、できるだけボランティアの活動を参観していただければと思います。なお、当補償制度については、今年度より市民協働推進課が窓口になりましたので（昨年度までは防災安全課）お間違えのないようお願いします。

東京都 教育支援コーディネーターミーティングのお知らせ

7月4日（木）午後に、今年度の東京都の教育支援コーディネーターミーティングが、代々木のオリンピック記念センターに於いて開催されるとの情報がありました。開催案内等が届きましたら改めてご連絡いたします。

なお、昨年度は国分寺市で行われた多摩地区の教育支援コーディネーターミーティングの日程は未決定です。

東京都 教育支援コーディネーターフォーラム 日程決定

今年度の東京都の教育支援コーディネーターフォーラムは、12月14日（土）に都庁で開催されるそうです。例年、町田市からもかなりのVCにご参加いただいております。また、役に立ったという感想をいただいております。正式に連絡が届きましたら、詳細をお送りし、参加者の取りまとめを行いたいと思います。参加しようと思われる方は、今からご準備ください。

※ 4月分の謝金の支払いについて

VC説明会でもお話ししたように、4月分のVC謝金の振込みを5月8日（水）までに活動日誌が届いた方に関しては6月上旬にはお支払い出来ると思います。

途中で止まっていて届くのが遅くなったり、提出のなかったりしたVCに関しては、来月以降の支払いとなりますのでご了承ください。